

平成 27 年度広島県計画に関する 事後評価

令和 3 年 1 月
広島県

3-1. 事業の実施状況（介護分） ※継続事業分

平成27年度広島県計画に規定した事業（介護分）について、令和元年度終了時における事業の実施状況を記載。

平成27年度補正分（介護分）

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 補（介護分）】 福祉・介護の職場改善事業	【総事業費】 27,363 千円
事業の対象となる区域	県内全域	
事業の実施主体	【広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会】 ・社会福祉法人広島県社会福祉協議会	
事業の期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>○県内事業所等の就業環境改善や人材確保策に係る取組などにより、採用率は上昇傾向にあるが、離職率については、全産業計と比べて高い水準となっており、依然として、離職率の高い職種というイメージが固定している。</p> <p>○職員に対する仕事の満足度調査では、約半数の職員が、「仕事の内容・やりがい」に満足と答えているが、技能形成やキャリアアップに関する項目の満足度は低い。</p> <p>また、働く上での悩みや不満等に関しては、人手不足、賃金などの回答が多い。</p> <p>○福祉介護職場は全国の学生・社会人を対象とした調査によると「体力的にきつい」（61.0%）、「給与水準が低い」（48.0%）などのマイナスイメージが他産業に比べ全体的に高く、敬遠されている。選ばれる職場となるよう就業環境の改善を行い、就職者への「見える化」が必要である。</p> <p>○平成29年度介護労働安定センターの調査（H29.10.1時点）によると、介護従事者は、「人手が足りない」（57.7%）、「有給休暇が取りにくい」（36.8%）など労働条件について働く上での悩み、不安、不満をかかえている。</p> <p>アウトカム指標： ・介護職員の離職者のうち3年未満職員の割合 60.6%以下（R1） ・介護職員数 51,502人以上（R1）</p>	
事業の内容（当初計画）	<p>○自己点検ツール実施システムの運営 職場環境の問題点を客観的に認識できる「就業環境自己点検ツール」を運営</p> <p>○自己点検ツール活用フォローアップ研修の開催（点検後） 自己点検を実施していない介護事業所へ個別訪問し、自己点検ツールの取組を促すとともに、点検後の事業所に対して、個々の課題解決策を教授する研修を開催</p> <p>○人材マネジメントスキル向上 育成方法、労務管理等の人材マネジメントスキル向上を目的と</p>	

	<p>した研修を開催</p> <p>○優良事業所の認証及びコンサルティングの実施 自己点検ツールによる課題抽出を踏まえ、社会保険労務士、中小企業診断士など専門家によるコンサルティングを実施 また、今年度から優良事業者を2段階とし、新たに上位認証を設け「見える化」をさらに図る。</p>
アウトプット指標（当初の目標値）	<p>○自己点検ツール実施システム運営及びワークショップの開催 ・フォローアップ 18回（1,800人）</p> <p>○人材マネジメントスキル向上研修 4回（1,200人）</p> <p>○優良事業所の認証及びコンサルティングの実施 ・集合コンサル 100施設 ・個別コンサル 60施設 ・認証法人 100事業所</p>
アウトプット指標（達成値）	<p>○自己点検ツール実施システム運営及びワークショップの開催 ・フォローアップ 7回（152人）</p> <p>○人材マネジメントスキル向上研修 13回（1,243人）</p> <p>○優良事業所の認証及びコンサルティングの実施 ・個別コンサル 33法人 ・認証法人 144法人（累計）</p>
事業の有効性・効率性	<p>・介護職員の離職者のうち3年未満の割合 観察できた→ 指標：68.7%（R元）</p> <p>・介護職員数 観察できなかった→（R3年3末）（R元）</p>
	<p>（1）事業の有効性 福祉・介護職場の環境改善への取組を見える化し、資質向上研修を通じたスキルアップを図ることにより、従事者のモチベーションアップにつながるとともに、人材の確保・定着に係る取り組みを行うことができた。</p> <p>（2）事業の効率性 関係団体等と連携を図り事業周知を行うとともに、効果的な職場環境改善に取り組むことができた。</p>
その他	<p>平成27年度：0円 平成28年度：0円 平成29年度：0円 平成30年度：0円 令和元年度：27,363千円</p>